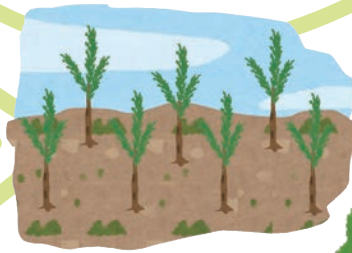


# かんばつ 山のしごとと「間伐」を知っていますか

森林には大きく分けて、自然の力で育ち成長した「天然林」と、スギやヒノキ、アカマツなど、木を利用するために人が植えた「人工林」と呼ばれる森林があります。

この人工林で木を育てる場合、種を採り、苗木に育てることから始め、育てた苗木を植えていきます。皆さんも住んでいる地区や学校などで植林活動をしたことがあるのではないのでしょうか。



## かんばつ 間伐っ

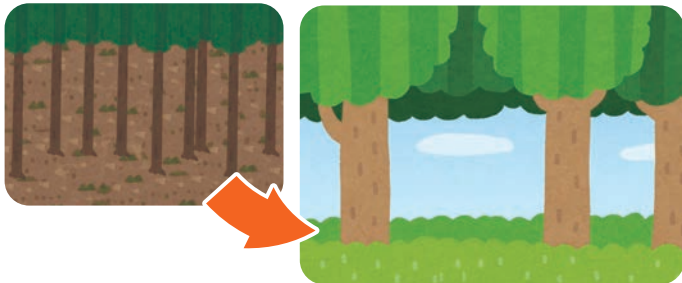


植えた苗木は、住宅や家具などの木材として利用できる大きさになるまでに50年ほどかかります。その間、様々な手入れを繰り返していきます。

## なぜ間伐を実施するの？

間伐を行っていない森林はどうなるのでしょうか？自然のままに放って置くと、木と木の間隔が過密すぎて互いの成長を邪魔しあったり、枝や葉が太陽の光を遮って、光が地面まで届かなくなったりします。

このため、日影が増えて土の栄養がなくなり、木の生育が遅く、曲がった木や、やせ細った木になり、良質な木材製品にもなりません。



## 1年のうちで 間伐するのはいつ頃？

一般的に間伐は、晩秋から冬に行われます。夏は木が水分をたくさん含んでいますが、秋になると、木は水を吸い上げなくなるので伐り倒しやすくなるのです。

さらに、秋以降は草が枯れて足元が見やすくなることや、伐り残す木に傷がついても、そこから病気になるにくいなど、このような点からもやはり晩秋から冬は間伐をするのに適した季節となります。

## 間伐は何回も実施するの？

間伐回数は、その森林の状況や木の種類によってさまざまですが、概ね15～35年間隔で行うことが多いです。



モックくん

Since 1991

山梨県産材普及  
トレードキャラクター

植えた木が早く大きく元気に育つよう、苗木の成長の妨げとなる雑草やツルを刈り取る「下刈り」があります。これを行うのが7年目くらいまでです。



木が大きくなってくると今度は周りの木が成長を妨げることがあります。これを除去するのが「除伐」になります。これを行うのが8～15年目くらいです。また、ヒノキなど柱にしたときに節が出ないように枝を伐り落とす「枝打ち」もあります。

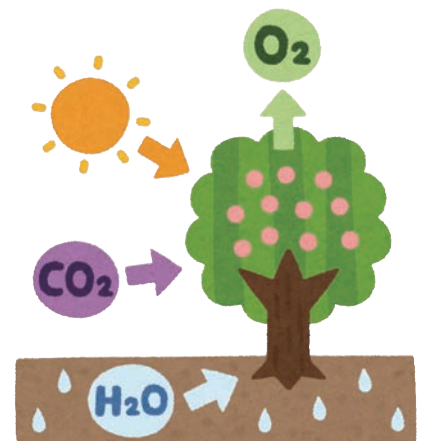
そして15年目くらいからは、木が育って森がこみあってくると全体に日光が行き届かなくなり、成長が遅れてしまったり枯れてしまったりします。そのため、曲がった木や枯れてしまった木を間引く「間伐」を行い、将来、木材として収穫することができるよう木の成長を促します。



て何？

## 適切に間伐が行われた元気な森林の働き

- 木の葉や草が太陽の光を受けて光合成を行い、二酸化炭素を吸収し酸素を作り出すので地球温暖化の防止に役立ちます。
- 大量の雨が降っても、土の中に張り巡らされた根が土や石をしっかりとつかんでいるので、土砂崩れを防ぐとともに、下草などは表土が流れ出るのを抑えます。
- 森林が雨水を吸収し蓄える働きが高まるため、水が川へ急激に流れ出ないようになるとともに、土壌や岩の間を雨水が通るので川の水の濁りが少なくなります。このような働きから森林は「緑のダム」と呼ばれています。
- 地面に立木以外の草木が生えやすく地表の植物が豊かになり、多様な生物の生息を維持できるようになります。



### でもなんで間伐はされなくなったの？

そう疑問が湧いてきませんか？ 間伐がされなくなった大きな原因は、木材の価格が以前より大幅に下がり、林業が儲かりづらくなったことにあるようです。その結果、林業の後継者も少なくなり、管理がされない森林が増えてしまってきているのです。

### あなたの山も間伐できます

親から山を引き継いだけど「所有の森林をどうしたらいいのかわからない」というときは、森林環境税を使って整備することができますので、お近くの県林務環境事務所にご相談ください。